

和地ひとみレポート No.20

市内の小中学校の体育館の耐震性は…

今までの公表値より大幅に低い結果に。



■平成24年度に耐震補強工事を計画

…平成24年度に耐震補強工事を計画している市内の小中学校の10体育館について、現在、耐震診断と耐震補強工事設計を行なっているとの連絡が10月26日付で市長よりありました。

…建物の耐震度を表す指標にIS値というものがあります。これは建築物の階ごと等に算出されるもので、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」に係る告示第184号によると、IS値が0.6以上の場合に、大地震時に「倒壊または崩壊する危険性が低い」、0.3以上0.6未満の場合に「倒壊または崩壊する危険性がある」、また、0.3未満の場合に「倒壊または崩壊する危険性が高い」とされています。つまり、IS値が0.7以上あることで、学校施設として十分耐震性がある=A判定とされています。

…今回、報告のあった値については表のとおりです。最終結果ではないとされているものの、大きく値がさがっている体育館もあり、この結果によって、今まで耐震性が確保されていたとされていた第二小学校の体育館についても耐震診断を実施することになったとのことでした。

■体育館の耐震性は、災害時の避難場所の安全確保としても重要

…小中学校の体育館の耐震性は、子供たちの安全性の確保のためにも重要ですが、災害時に避難場所となることを考えると、地域住民のためにも重要なことです。前回の調査結果は市のホームページで公表されているもの

で、今年の4月現在のものとされています。半年でこれほど値が変化するものかと思いますが、改めて診断をしたことにより、状況を正しく把握する動きになってよかったと思っております。

連絡があった小中学校は今までの公表で耐震性がB評価、C評価だった学校のものです。

…11月に開かれるタウンミーティングのテーマは防災ですが、災害を防ぐとともに、市民の避難場所になる場所の耐震性や安全性などを正しく把握することが前提にないと、本当の意味での対策はできないのではないかと思います。行政には是非とも、今回のことをきっかけに、今までのデータや数値を改めて見直してみるという動きをとってもらいたいと思います。

■体育館の耐震性

学校名	これまでのIS値	現段階のIS値
第一小学校	0.44	0.34
第三小学校	0.47	0.36
第五小学校	0.64	0.54
第六小学校	0.41	0.17
第七小学校	0.39	0.21
第八小学校	0.69	0.16
第九小学校	0.37	0.26
第十小学校	0.44	0.18
第二中学校	0.67	0.43
第三中学校	0.33	0.18

※第四小、第四中はD判定、第一中、第五中はA判定となっています。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

【プロフィール】1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケット「つるかめランド」等を経営)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。/同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、東大和市議会議員1年生として、日々、奮闘中。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0003 東大和市狭山2-864-3-202